

労働災害の発生状況（事故類型別）

※死者と休業4日以上の負傷者の合計、厚生労働省による



転倒防止対策のポイント

- 2割以下の小さな段差も①で解消。できない場合はテープなどで目立つように強調する
- 全体と局所の照明を併用して影ができないよう②を確保する
- 定期的な③で、体の状態を正しく知ってもらう
- 慣れによる油断を防ぐため、継続して④を開催する



働く高齢者の転倒を防ぐ
うと、厚生労働省は企業が
できる防災防止の取り組み
をまとめた冊子を公表し、
対策を促している。2割以
下の小さな段差もスロープ

で解消するほか、全体と局
所の照明を併用して影がで
きないよう明るさを確保す
ることが重要と指摘。定期
的な体力測定で、体の状態
を正しく知ってもらうこと

も必要だとしている。
21日は敬老の日。雇用さ
れている人全体のうち、60
歳以上の割合は2025年
で約2割に上り、今後も増
加が見込まれる。厚労省の
冊子は、高齢者は豊かな経

験と知恵を持っており、職
場環境の改善を「若いへの
対策」と捉えずに「ベテラ
ンの技を次世代につなぎ、
長く元気に働くための投
資」と位置付けることで組
織の士気が高まると提案し
ている。

近年の防災の事故類型で
最も多いのは転倒だ。厚労
省によると、転倒による死
者と休業4日以上の負傷者
は25年、防災全体の3割近
くを占める3万7195人
となり、15年から約1万1
千人増えた。

特に高齢者は運動能力の
低下でつまずきやすく、対
策が重要とされる。4月に
施行された改正労働安全衛
生法は、高齢者の特性に配
慮し、防災防止に向けた必要
な措置を講じることを努力
義務として規定した。

冊子は「社内で実施可能
な行動災害防止に向けた取
り組み」。けがをしそうに
なった事例をアンケートな
どで把握し、リスクの見え
る化に取り組むことが有効
だとした。慣れによる油断
を防ぐため、継続して安全
講習を開催することも求め
た。

働く高齢者の転倒防止を

段差解消など対策まとめ

厚労省

記事を読んで、問いに答えましょう。

1 2025年段階で雇用されている人全体のうち、60歳以上の人は何割ですか。

約[]割

2 2015年の転倒による労働災害の人数は何人でしたか。

[]人

3 特に高齢者に転倒による労災が多いのは、なぜですか。
空欄に本文中の語句を補いましょう。

[①]の[②]
によって[③]
なっているから。

4 2026年2月に改正施行された労働者のための法律名を7字で答えましょう。

--	--	--	--	--	--	--

5 転倒防止対策のポイントをまとめた表の■部にあてはまることばを、記事本文から抜き出して書きましょう。

① []
② []
③ []
④ []

NIEワークシートのこたえ（2026年10月5日公開）

◆ワークシート

「世界気温上昇、数年で危機に（社会・数学）」

2026.9.19付 夕刊 7面 解答

1 約 2 割

2 26195 人

3 ① 運動能力 ② 低下 ⑩ つまづきやすく

4 労働安全衛生法

5 ① スロープ ② 明るさ ③ 体力測定 ④ 安全講習

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事を読んだの感想や意見を1行で書いてみましょう。）

--

★100字シート (□にチェック)

□記事の要約

□記事に対する感想・意見

[illegible]